

事務局長・職員研修会で

懸案事項解決に向け意見交換

九月二十五、二十六日の両日、青森県遺族連合会が主体となり、青森市の「ホテル青森」に全国二十八都道府県から四十三人が参加し、令和元年度支部事務局長・職員研修会を開催。英霊顕彰・処遇改善運動や今後の遺族会を考える特別委員会アンケート結果、遺骨収集、青年部の活動等、遺族会に山積する懸案事項について活発な意見が交わされた。

全国の事務局長・事務局職員、本会から昨上和男専務理事ら四十三人が参加して、令和元年度事務局長・職員研修会が九月二十五、二十六日の両日開催された。

開会式でははじめに、事務局職員が水落敬栄会長に代わり挨拶に立ち、「令和に入ってから初めての本研修会となりますが、今回は二十八都道府県の方々に参加いただき感謝の意を述べたい」と挨拶した。

謝いたします。それぞれの支部においても、業務運営等に事務局の皆さんが要であります。しっかりと情報共有しながら各支部の遺族会の発展と、日本遺族会の今後の事業等々にご理解をいただき、引き続き本支部が連携強化を図り、懸案事項解決に取り組んでいくことを再確認し研修会は終了した。

時刻から開催した懇親会には、東京から水落会長が駆けつけた。参加者はそれぞれ支部を抱え、交換し親睦を深めた。

旧ソ連で42柱を収容

ハバロフスク・ゴリニンカザフスタン・サラニイ村で

日本戦没遺骨収集推進協会は、八月十九日から九月三日の期間、旧ソ連地域のハバロフスク地方及びカザフスタン共和国で遺骨収集を実施し、本会も参加協力をし、各地域から四十二柱の遺骨を収容し帰国した。

旧ソ連連中死傷者遺骨収集ハバロフスク地方第二次派遣は、去る七月に実施した第一次派遣に引き続き、コムソモリスクから北へ車で三時間程に位置するソルネネツ地区ゴリニン村の第四九三野戦病院ゴリニン居住地墓地、並びに第五収容所第四九三野戦病院墓地で作業に従事した。埋葬地は、木々に囲ま

ダのブルハ・ジラウスキー地区第九収容所第一四支部サラニイ村の埋葬地において収集作業を行った。

リツアル市は、主要都市カラガンダより東へおよそ八百キロの山間部。掘り出された遺骨は、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で、関係者等により丁寧に埋葬された。

東部ニューギニア現地調査は、八月二十四日から九月七日の期間で実施した。

派遣団は、ミルンベ州アロタウ、オロ州ボナンタ、バゴウ、クンバタ、ゴラリ、コゴア周辺等で調査を行った。

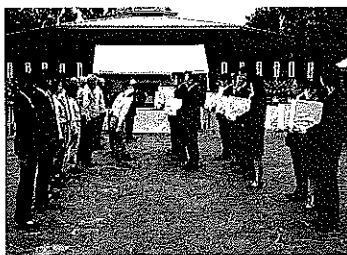
パラオ諸島

パラオ諸島現地調査第三次派遣は、九月四日から十七日の期間で実施した。

派遣団は、アングウル



氷点下に近い厳しい状況で収集作業に従事する団員=8月30日、カラガンダ郊外のサラニイ村で



両派遣団から厚生労働省職員に遺骨が引き渡される=9月4日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

インド等四地域で調査

未送還の遺骨情報収集

日本遺族会では、日本戦没遺骨収集推進協会(JARRWC)が実施している、海外に未送還されている未送還の遺骨情報収集等を行う現地調査に、参加協力をした。

東部ニューギニア

東部ニューギニア現地調査第三次派遣は、八月二十四日から九月七日の期間で実施した。

派遣団は、ミルンベ州アロタウ、オロ州ボナンタ、バゴウ、クンバタ、ゴラリ、コゴア周辺等で調査を行った。

パラオ諸島

パラオ諸島現地調査第三次派遣は、九月四日から十七日の期間で実施した。

派遣団は、アングウル



事務局長・職員研修会で挨拶する齋藤文昭青森県遺族連合会理事長=9月25日、ホテル青森で

研修会は山田幹事長が座長となり進められ、英霊顕彰運動、処遇改善運動、今後の遺族会を考える特別委員会アンケート結果等が議題としてあり、特に青年部の活動や遺骨収集の今後について多くの質問があり、意見が交わされた。最後に、遺族会の運営等、より一層難しい状況が予測されることから、引き続き本部・支部が連携強化を図り、懸案事項解決に取り組んでいくことを再確認し研修会は終了した。

時刻から開催した懇親会には、東京から水落会長が駆けつけた。参加者はそれぞれ支部を抱え、交換し親睦を深めた。

第四次安倍再改造内閣

自民党三役も

安倍晋三内閣総理大臣は九月十一日、第四次安倍再改造内閣と自民党役員人事を行った。閣僚十九人のうち、ポストの変更を含めて十七人が交代する大幅改造となった。初内閣は安倍内閣で最多の十三人になった。

総理は記者会見で、新しい時代の国づくりを力強く進めていくための布陣を整えた。安定と挑戦の内閣だと述べた。

なお、総務大臣に高市早苗氏(奈良二区)、厚生労働大臣に加藤勝信氏(岡山五区)が就任した。

本会関係では衛藤晟氏(参比例)が沖繩、北方一億総活躍大臣に、橋本聖子氏(参比例)が五輪・女性活躍大臣に初任された。自民党役員人事では幹事長に三階後博史(和歌山二区)、政調会長に岸田文雄氏(広島一区)が再任された。総務大臣には鈴木俊一氏(宮守二区)が新たに就任した。

五月の答申に向けて反映されるよう、報告された。

第四と第五で開催

白熱した議論交わされるブロック会議

九月五、六日の両日、鳥取市の「ホテルモナーク鳥取」で五十一人が出席して第四ブロック会議が開催された。また同日の月十九、二十日の両日は、佐賀市の「ホテルグランドアーク」で四十七人が出席して第五ブロック会議が開催された。

本会からは市長後助副会長、昨上和男専務理事、盛川英軍事務局長らが出席した。

両会議では、特別慰労金の支給範囲の要望や各県における財政、組織、処遇問題等について報告があった。また各青年部長等から青年部の活動状況等の説明もあった。各県の報告を受けて、何れも今後の遺族会を運営していく中で重要な問題であり白熱した議論が交わされた。本会が検討して



第5ブロック会議で白熱した議論が交わされる=9月19日、佐賀市で



重機による試掘作業を行い遺骨捜索する団員=9月15日、インパルで

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族支援など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉鎖したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者ご遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様1万円程度からお願しております。

賛助金のお振込みは

●郵便振替 00130-2-694929
●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930
口座名は必ずしも「一般財団法人日本遺族会：ザイニホンイソクカイ」

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

宇田川徹雄本会副会長(東京都遺族連合会会長)を団長とするソロモン諸島慰霊友好親善訪問団は、九月十八日全団九府

好業 友事 靈善 慰親

ソロモン諸島を訪問 西部ニューギニア渡航中止

日本遺族会主催の慰霊友好親善事業で九月十八日から二十五日まで、の間、ソロモン諸島地域を実施。亡き父等の戦没地を巡り慰霊追悼を行うとともに、植林活動や現地の方々との友好親善を行った。なお、九月出発の西部ニューギニア訪問は一部の地域でデモや大規模な暴動が発生したため渡航中止を余儀なくされた。



慰霊碑前で亡き父に語りかける団員 = 8月20日、ツラギ島で



ナハSD小学校で大縄跳びを楽しむ児童ら = 8月23日、ホニアラで

港を出発し翌朝オーストラリア・ブリスベーンを経由してソロモン諸島の首都、ガダルカナル島のホニアラに歩を印した。二十日には船泊し、チャーチターしてツラギ島

の南埠頭に着岸し、慰霊碑前に祭壇を設置して慰霊祭、故郷から持参した品々を供えて亡き父に語りかけた。復路ではツラギ島を訪問し、米空母の南埠頭に着岸し、慰霊碑前に祭壇を設置して慰霊祭、故郷から持参した品々を供えて亡き父に語りかけた。復路ではツラギ島を訪問し、米空母の南埠頭に着岸し、慰霊碑前に祭壇を設置して慰霊祭、故郷から持参した品々を供えて亡き父に語りかけた。

機は爆撃を受け同地で沈没した駆逐艦「菊月」に合掌し黙祷を捧げた。二十一日はホニアラ以東の激戦地、岐阜高地で慰霊追悼を行った。二十一日にはカミンボ、エスヘレンス岬、コカンボナと昭和十八年二月の戦況不利により撤退を余儀なくされた地域周辺の島西方で慰霊祭を行い、積年の思いを語りかけた。二十三日、友好親善の一環として、ホニアラの赤十字医療特別支援センターを訪問し、所期の目的を果たした一行は、二十五日無事帰国の途に着いた。



沈没した駆逐艦「菊月」に合掌し黙祷を捧げる団員ら = 8月20日、ツラギ島付近の洋上で

本紙(同面)でもお願いしている本会への賛助金につきましては、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。なお、大変恐縮ではございますが都道府県名については、送付方法により所在地が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。

本会への 賛助金のお礼

賛助者名(敬称略・カタカナ名は銀行振込漢字名は現金書留等) 百々咲子、田中真代、小原竹子、澤田早苗、坂巻素子、袖田朋幸、中野典子、向畑好貞、井出則丹下、土井由子、山本明敏、高橋素子、藤原健三郎(以上、九月一日から九月末日まで) 皆様からいただきました

した賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

西部ニューギニア大規模暴動で中止 西部ニューギニア慰霊友好親善訪問団(九月実施予定)は、訪問予定地域のバブア州方面の各地において、デモや大規模な暴動が八月中旬より発生したため、団員の安全確保が最優先と考え、八月二十九日中止となりました。

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

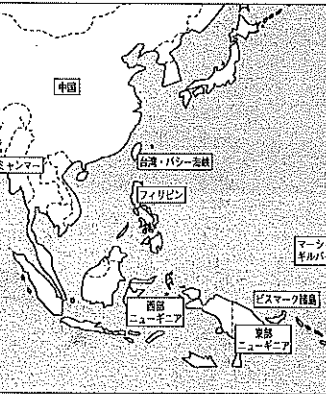
毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う若年層(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。年間購読料/1,560円 (1年間 12回 税金・送料込)

お申込み 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

遺児の参加者募集 慰霊友好親善事業

募集要項はつぎのとおり。時期及び地域 実施概要 参加費 10万円 ※東京等へ集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関はご自身の手配になる。また、移動に係る国内交通費及び帰国

り寄せていただき、記入項目に不明な点(戦没者の部隊等)があれば各遺族会に相談し、条件を満たした上で提出願いたい。なお、申込多数の場合は選考となる。また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期がある場合、予めご了承願いたい。なお、参加者の高齢化に考慮し、看護師が同行する。



実施概要

(広域地域)			
実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 台湾・パシフィック	令和2年 2月3日~2月9日	30人	令和元年 12月3日
2 ビスマルク諸島	令和2年 2月12日~2月19日	40人	令和元年 12月12日
3 マーシャル・ギルバート諸島	令和2年 3月7日~3月15日	40人	令和元年 11月7日
4 フィリピン(2次)	令和2年 3月13日~3月20日	120人	令和2年 1月14日
5 中国	令和2年 3月23日~3月31日	80人	令和2年 1月23日
(特定地域)			
実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 西部ニューギニア	令和2年 1月17日~1月26日	36人	令和元年 11月18日
2 東部ニューギニア	令和2年 2月12日~2月19日	36人	令和元年 12月12日
3 ミャンマー	令和2年 2月25日~3月4日	36人	令和元年 12月23日

開館20周年を記念して 特別企画展開催 14035人が来場

昭和館

昭和館で、七月二十日から九月八日にかけて、開館二十周年記念事業として、特別企画展「受け継がれる想い」資料に見る戦中・戦後の暮らし」と企画展「昭和館二十年の足跡」が開催された。特別企画展は一万四千三百五十五人、写真展は一万三千二百七十一人が来場し、幅広い年代から好評を博した。

開館二十周年を迎えた
昭和館では、特別企画展「受け継がれる想い」資料に見る戦中・戦後の暮らし」と企画展「昭和館二十年の足跡」が開催された。特別企画展は一万四千三百五十五人、写真展は一万三千二百七十一人が来場し、幅広い年代から好評を博した。



愛児への手紙

陸軍上等兵 孕石 春二

昭和二十年十月十一日
中国漢口 第五百五十八兵站病院にて戦病死
愛知県名古屋市中区天塚町出身 三十五歳

愛児よ、
どうか不孝なる人から幸福なる人へ、お母さんをしてあげてください。それにはお母さんのひびつかけをよく守り、お母さんのよき相談相手になり、決して心配させないでください。それを父は希望します。
ひいては成人するにつれて、名譽ある家族の名を辱めざること、呉々もお母さんの云ひつかけをよく守り、よき相談相手になり孝養していただきなさい。

清く美しい香りある梅花の如く咲き誇り来たれよ。強く正しく清く、お母さんの云ひつかけをよく守り心配させぬこと。これが父に対しての孝、ひいては忠となる。日本の根本は忠孝にあり。

愛児よ

すこやかに 強く 清く 正しく

昭和十八年十月二日

父より

愛児殿 (原文のまま)

【令和元年十月靖国神社頭掲示】
愛しき日々のへ

戦後の暮らしを後世に伝える昭和館の事業は、昭和・平成を経て令和となり、ますます重要性が増していることを感じさせる内容となった。
2階の広場で同時開催の企画展「昭和館二十年の足跡」では、二十年の事業を振り返り、昭和館としてこれまで開催してきた特別企画展、写真展、企画展のチラシが一堂に展示された。



特別企画展の展示資料を熱心に見学する来場者。昭和館。

青年部の参加者募集

日本遺族会はフイリビ戦跡慰霊巡拝を本会青年部が主体となつて企画し、青年部事業の一環として実施する。戦争の記憶を風化させないため、慰霊巡拝を体験し、

OBONソサエティ

大会が厚生労働省の委託を受け実施している「戦没者遺品の返還に伴う調査」事業で、戦没者の遺品の返還活動をしているOBONソサエティから本会に照会があった遺品について、遺族が判明し各地で返還されている。

地方めぐり

各都道府県遺族会で実施された会、研修会等は次のとおり。
▼三重県 7月15日 女性部結成65周年記念事業・靖国神社に千羽鶴奉納(100人)

遺族以外の青年部員等の参加も可能。
▼参加費用 十五万円程度
※後継者育成を目的とした事業であるため、本会から参加者に対し助成の事務局へ。
ネットでも入手した日章旗が、清須市出身の深見正雄さんのものであることが判明した。八月十三日に同市役所で、弟の利市さん、正光さんらに手渡された。ババアニューギニアのラバウルで死亡した正雄さんについて、当時戦死の知らせと一緒に届いたのは現地の一握りの砂だけだったという。若手県では、薩摩島で戦死した花巻市出身の浦田清吉さんの遺品が甥の浩治さんに返還された。

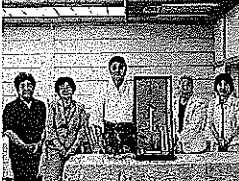
▼千葉県 8月8日 令和元年度若津4市遺族会研修会(113人)
▼徳島県 7月10日 8月7日 第8回特別企画展「ヒロシマ原爆展」(7973人) 8月10日 第59回語り部事業(35人)
▼滋賀県 8月20日 滋賀県下戦没者慰霊祭(110人)
▼福井県 8月24日 福井県戦没者追悼式(2千人)

九段短歌

選者 安元 百官

戦没の兵らの叫ぶ声のことババアの涙に涙打たす
沖繩の慰霊の式に小六が朗読せし時 一本の草
千葉市 石橋 誠子
富士吉田市 菅沼 勝由
赤紙を語る人なき世となりて 宛の日記を繰返し
南相馬市 柴田 征子
黄泉の季節の便り出せぬまま平和の礎で父の名を
蒲城市 小林 和代
戦没の遺族の悲しみ数知れずままのつりの紙灯ゆる
壬名市 玉名市 森野 睦子
慰霊の日黙祷すればこの年も目を射るこまのハイス
カスの赤 青森県 田中 恭子
雑音のなかに敗戦くみどりしあひの瞬間の八月が来る

赤紙も戦争も知らない人がいる時代となり、戦後の長さを痛感させられますが、ご遺族の悲しみはいよいよ深まることを頂いたお歌により感じます。
令和の御代となつて昨年、十月二十日には皇座で即位の礼「正殿の儀」が国事行事として行われ、天皇陛下は高御座にお昇りになり、国の内外に即位を宣言されます。平成の「正殿の儀」には、元首約七千人を含む内外の祝賀使節が二七三人も参加されたとの事です。国の大切な行事です。国民それぞれでお祝い申し上げたいを存じます。(選者)



富山県 8月2日 忠霊塔合葬戦没者二万八千余柱の慰霊祭(450人)

購読料据置きのお知らせ
令和元年十一月より消費税率が十一パーセントに引き上げられましたが、日本遺族通信、年間購読料金千五百六十円は、据置きとさせていただきます。